

エントリくん「入札区分」について (当会運用)

2019.06.03

№	入札区分	説 明	対 象 者	金 額	技術提案	落札者	備 考
1	一般競争	予め業務概要の公示を行い、参加資格を有する参加希望者により入札を行い、最低金額で応札したものを落札者とする方式。	参加資格を有する業者すべて	最低金額	なし	最低金額	
2	一般競争 (総合評価型)	予め業務概要の公示を行い、参加資格を有する参加希望者の技術提案と入札金額を総合的に評価し、最高の評価点となったものを落札者とする方式。	参加資格を有する業者すべて	総合	総合	最高評価	
3	指名競争	予め発注者から指名された業者で入札を行い、最低金額で応札したものを落札者とする方式。	予め指名された業者のみ	最低金額	なし	最低金額	
4	指名競争 (総合評価型)	予め発注者から指名された業者の技術提案と入札金額を総合的に評価し、最高の評価点となったものを落札者とする方式。	予め指名された業者のみ	総合	総合	最高評価	
5	公募型競争	予め業務概要の公示を行い、公募により参加表明書を提出させ、指名基準により選定された複数の業者により入札を行い、最低金額で応札したものを落札者とする方式。	参加資格を有する業者すべて	最低金額	なし	最低金額	
6	簡易公募型競争	上記の規模が小さい業務で、簡易な手続きで行なう方式。	参加資格を有する業者すべて	最低金額	なし	最低金額	
7	簡易公募型競争 (総合評価型)	予め業務概要の公示を行い、公募により参加表明書を提出させ、指名基準により選定された業者の技術提案と入札金額を総合的に評価し、最高の評価点となったものを落札者とする方式。	参加資格を有する業者すべて	総合	総合	最高評価	
8	公募・簡略審査型競争入札	防衛省独自の方式10社を超える公募があった場合、独自の簡略審査により10社程度に絞った業者による入札を行い、最低金額で応札したものを落札者とする方式。	参加資格を有する業者すべて	最低金額	なし	最低金額	防衛省独自方式
9	特命随契	当初から、要件を満たすものが1社に特定されることを理由に、他社との競争なく契約を締結する方式。	1社のみ	競争なし	なし	予定価格内	
10	見積り合せ	複数の業者から見積書の提出を求め、最低金額を提示したものと随意契約を締結する方式。小額随契の場合が多い。	複数業者	最低金額	なし	最低金額	見積り合せの場合のみ。
11	不落随契	・競争入札の結果、最低金額が予定価格を上回るなど落札者が決定しない場合に、最低価格の入札者と予定価格の範囲内で随意契約を締結する方式。 ・競争入札の結果、入札参加者が1社になるなど入札不成立となり、再公告などにより随意契約となった場合。	競争の結果最低価格の1社	競争なし (最低金額)	なし	予定価格内 (最低金額)	当初は競争で、最終的に随契となった場合。
12	公募型プロポーザル	業者の参加を公示により募り、参加表明書を提出した複数の業者からの技術提案書を審査し、最高の評価点となったものと随意契約を締結する方式。	参加資格を有する業者すべて	競争なし	最高評価点	最高評価	(随契の一種)
13	簡易公募型プロポーザル	上記の規模が小さい業務で、簡易な手続きで行なう方式。	参加資格を有する業者すべて	競争なし	最高評価点	最高評価	(随契の一種)
14	標準プロポーザル	複数の業者からの技術提案書を審査し、審査基準を満たしたものの見積書の提出を求め、最低金額を提示したものと随意契約を締結する方式。	参加資格を有する業者すべて	最低金額	審査基準満たす	最低金額	(随契の一種)
15	コンベ式	技術者や業者の選定ではなく、業務案を選定する方式。					備考欄に具体的な記述必要
16	その他	備考欄に具体的な記述必要					備考欄に具体的な記述必要

注) 最低金額は、基本的には予定価格の制限の範囲内であることが条件となる。

№1～8は競争入札、№9～15は随意契約が基本となっている。